

「話し合っよかった！」を育むためのディスカッション教材開発

-アイデア積み上げ過程を評価するには-

藤浦五月・宇野聖子・桑野幸子（武蔵野大学）

背景 ・ディスカッションに関する苦手意識、グループ活動の増加、社会参加の機会・必要性の増加
・創造性や思考力といった測定・育成が難しい能力に関する育成・評価手法の積極的開発の必要性（P.グリフィン他, 2014）
→「質のいい話し合い」の育成&評価の難しさ+グループ活動評価の難しさ

目的 話し合い従事者が「話し合っよかった」と思える & アイデアが積み上がる教材を開発する
開発中の教材を議論プロセスの7つの評価項目から検証+データから「アイデアが積み上がる過程」の観点を整理
→カリキュラム・教材改善につなげる【データ単体ではなく、活動（教材）・アウトプット・分析結果を揃えて提示し、改善点を具体的に】

実践概要・調査方法 (a-c)

■ 利用授業：「日本語1」

留学生対象のアカデミック・ジャパニーズスキル養成科目
（1クラス約15-20名×4クラス，中上級～上級）

■ 本実践の進め方（90分×8コマ）

- ① 話し合い経験を振り返り、困難点・意義について理解
- ② A 意見を述べる表現
B 他者との関係を調整しディスカッションを進める表現
→段階的に導入（毎回異なるテーマにて練習・テスト）
- ③ ②にて自己評価・他者評価・振り返りを行い成長を確認

- 開発テキスト分析** ディスカッション評価観点（鈴木ほか 2008）
①誠実な参加態度 ②対等な関係性 ③議論の活発さ ④意見の多様さ
⑤議論の深まり ⑥議論の管理 ⑦意見の積み上げ
→教員3名で開発テキストのワークを①～⑦に分類
- 「話し合っよかった！」ポイントの整理**
アンケート記述から学習者が話し合いに楽しさを感じる項目を整理
- ディスカッションデータ分析（授業での活動を録音・録画）**
・データ数：7データ（1グループ4-5名、各15分程度）
・テーマ「企画立案型」クラスのお疲れ会企画、学祭ブース出展企画
・動画・文字起こし資料から教員3名の評価が高いものと低いものを比較、表現・行為に注目して抜き出して検討

結果

a. 開発教材のタスク分析（ワーク別）

徐々に難易度UP

	表現	応用・仕上げ	考える
Unit 3	①	①②③④	①②③④
Unit 4	①②③④	①②③④⑤	①②③④
Unit 5	①	①②③④⑤⑥	①②③④⑤⑥
Unit 6	①② ④⑤⑥	①② ④⑤⑥	①②③④⑤⑥
Unit 7	① ③	①②③④⑤⑥	

・3人以上で話す練習なし
・3ターン以上の会話練習はUnit6で初出

⑦積み上げは練習なし。評価で登場

b. 話し合っで楽しさを感じる時 (n=44 自由記述 数字は意見個数)

■ 自己の行為

自分の意見が伝えられた時
自分の興味がある時

9

■ 他者とのやりとりを通して

<内容>
多様な考えを知る時
意見がまとまった時

14

■ 他者からの働きかけ・承認

自分の意見が認められた時
共感された時

13

<雰囲気>
話が盛り上がった時
みんな一緒に笑う時

10

c. ディスカッションデータ分析 ★「議論の流れ全体」を見てはじめて見えてきたポイントと行為・表現

アイデアの積み上げに関わる4つのポイント…具体的な行為・表現

①条件整理質問・懸念表明 ②新規メリット・既出案融合 ③曖昧な反応・安易な同意の回避 ④既出案を上回る理由を持つ新規案・最終案

① 条件整理質問（？）や懸念表明（▲）が話し合い前半に頻出

C 私もBBQはいいと思うんですけど、私の別の提案で...（略）
パーティースペースを貸し切って...【場所+予算+柔軟性】

- A? 食事を提供しているところは？
- C 提供・自炊、いろいろある
- E? 貸切はどれくらい？
- C 広さはそんなに問題にならない
- A? じゃ、値段のほう
- C みんなで割ればそんなに高くない

①後半になるにつれて？と▲が減少
=共通理解の形成
=議論が整理されてきている

②④ 新出メリット（★）・既出案融合が話し合いの後半に頻出

C パーティスペースだと歌が好きなのもカラオケがついてあるし（略）
【既出案（カラオケ）+既出条件（食事+場所+予算）】

- A ★ 言ってること全部できますよね。
- C はい。ですから、お別れ会にびったりじゃないかなと思います
- E 私もパーティールームがいいと思います
- A ★ ...自分で鍋とか肉としたら簡単じゃないですか【既出案（鍋）】
- C ★ しかも貸し切れることも可能
- A ★ えーじゃあ結構遅くまで遊べる。帰れなくなる。笑
- C たっぷり楽しんで
- A ★ じゃあ、その中に鍋作る人とか...（略）みんなで共同作業も楽しいかな
- E ★ 予算も自分たちで考えるし
- A ★ そうですね。コントロールできる。じゃあ、パーティールームにします
全 笑+拍手

条件等、これまでの流れを整理した結果...
→② 新規メリットを具体的に積み重ねる
→④ 既出案・条件に言及しつつ、最終案がベストである理由を示す

チャンス喪失ケースは...

- ・条件整理質問が少なく、議論全体を通して頻出箇所なし。またはタイミングが悪い
- ・同じ条件に関する懸念表明（▲）が議論全体で繰り返される
- ・特別な理由なしに既出案を覆したり（✗）新たなアイデアを出したりする
- ・アイデアに対し、メリットや既出条件の具体的な発言・新規案が少なく、抽象的反応

アイデア積み上げ・合意チャンス喪失

K さっきGさんが言ってくれたボーリングとかもいいと思います。...（略）
話す話題が少なくなったら、そのスポーツで...【活動の柔軟性:G案繰り返し】

✗L うん、そうだね
✗M じゃ、それで行きましょうか。

③安易な同意・曖昧な反応
→論点整理・合意のタイミング損失

全 笑

✗L? 食事できる？

G 同じ施設のカラオケで食事できるかもしれないがみんな入らないかも（▲）
✗M Gさんの話を聞いて思ったんですが、（場）は、みんなで入れるカラオケが
全 えー！

M カラオケだったら盛り上がりやすいし、どうかな。

✗L うん、それはいいかもしれないですね

K ▲ちょっと遠いですね...【既出条件:場所の遠さは懸念事項として出ている】

G ▲この近くに住んでいる人結構いるから、一駅の方が近い。

✗L ▲できれば学校の近くにしたほうがいいかな

K 彼の意見はありますが

G 遊園地とかもあるが、遠い一部の人のみ楽しめるから...【既出条件:場所】

L みんなの話を聞いていると、場所は近いほうがいい。できれば金曜が平日夜。

例えばあの、一駅前に、あの居酒屋があって...（略）【新規案:居酒屋】

M ▲Lさんの話を聞いて、クラスの中に未成年がいるかも。

★でも居酒屋の方がコミュニケーションが取りやすくなるんじゃないかな

L あの、居酒屋はお酒を飲まなくてもいい

G ★ソフトドリンクとか

L そう、ソフトドリンク。みんながお酒を飲む必要がないから

M そうですね。じゃあ、それで行きましょう。

K はい。

L じゃ、居酒屋で

条件等、これまでの流れを整理しなかった結果...
→④最終案が既出案を上回る理由が示せない

結論

- ・考えるワークでは総合的な能力について扱いやすいが表現練習は不十分
・議論の積み重ねに関する具体練習を取り入れる必要あり（複数ターン）
- ・話し合っよかった！の実現は内容充実度だけでは達成できない
・他者への配慮表現をできるようにする必要がある（c.安易な同意との区別）
（例）あ、それ私も考えたんだけど... / ~できるのは良いですね+新規提案+理由
- ・アイデアの積み上げは直前の発話だけでなく、
それまでの既出案・条件をふまえてどのように話せるかが重要
・議論の前半・後半ですべきことが異なる=流れを掴む練習必須

★アイデア積み上げトレーニングへの4つの提案

- 個別の表現練習・抽象的な考え方だけ勉強せずに…
- 提案① 議論全体を言語化・視覚化してイメージを掴む
- 提案② 議論の前半・後半を意識してトレーニングする
- 提案③ 一定のまとまり（既出案・条件）に対する
考え方・意見の出し方を練習する
- 提案④ 議論全体の活性化と配慮表現を結びつけて練習する